

作成教材 「手を動かして考えよう 繰り上がりボード」

〈ねらい〉

- ・繰り上がりのある筆算を行うときの補助教材です。
- ・十進位取り記数法の仕組みに基づいて、一の位が10以上になる場合は、十の位に1繰り上げることを具体的な操作を通して理解できるようになっています。
- ・位取りが視覚的で分かりやすいため、繰り上がった数を忘れるという誤りを防ぐことができます。

〈材料〉

- ① パーツA、B、Cの型紙 別紙(添付したデータを事前にプリントアウトしておく)
- ② カラー発砲スチロール(赤色1枚) ※パーツAの型紙と同じサイズのもの
- ③ 画用紙(青色)一枚 ※パーツBの型紙と同じサイズのもの
* パーツA、Bはダンボールでも代用可能
- ④ 画用紙(白色・黄色)各1枚 ※パーツCの型紙と同じサイズのもの
- ⑤ ペットボトルのふた 19個(できれば同色のもの)
- ⑥ 直径2cmの丸シール(白色×10枚、黄色×9枚)

〈道具〉

ラミネートフィルム(A4サイズ2枚)、ホワイトボードマーカー(黒)、ホワイトボードマーカー用の消しゴム
油性マジック(黒色)、カッター、カッター板、定規、セロハンテープ、両面テープ

〈作り方〉

- (1) 発砲スチロールの(赤)に、パーツAを複写し切り取る。
- (2) 青色の画用紙をパーツB、白色と黄色の画用紙をパーツCの大きさに切り取り、ラミネートをかける。
* 研修会前までに、(1) (2)を作成しておいてください。



パーツ A



パーツ B



パーツ C

- (3) パーツAの裏からパーツCをセロテープで貼る。
* 一の位が白色、十の位が黄色となるようにする。



パーツ A を裏から見た図



数字の蓋

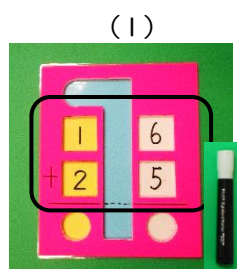
- (4) パーツ A の裏面の端に両面テープをつけ、パーツBを張り付ける。
- (5) (4)で組み合わせた台紙の表面に「+」の記号と「=」の線をマジックで書く。
- (6) 白色の丸シールに「0~9」黄色の丸シールに「1~9」までの数字を書く。
- (7) 数字を書いた丸シールをペットボトルの蓋に貼る。(以下、数字の蓋)



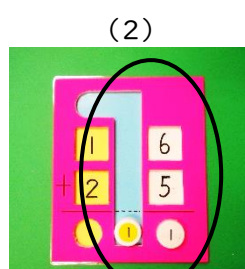
完成図

〈使い方〉

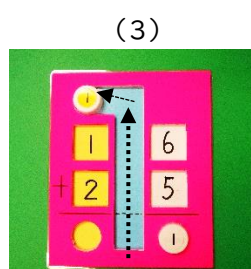
- (1) ホワイトボードマーカーで問題を口の中を書く。
- (2) 一の位を計算し、答えを数字の蓋で示す。(十の位は黄色の数字の蓋、一の位は白色の数字の蓋を利用する。)
- (3) 十の位にくり上がる①の数字の蓋を、上方に動かす。
- (4) 繰り上げた1と一緒に十の位のたし算をする。答えを黄色の数字の蓋で示す。



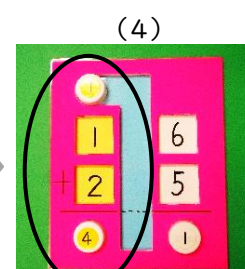
(1)



(2)



(3)



(4)